

令和6年度 保健師・助産師合同職能集会

令和6年6月22日（土）山口県看護研修会館において、令和6年度保健師・助産師合同職能集会が開催され、助産師14人、保健師40人の参加がありました。

まず、「周産期のメンタルヘルス～精神症状のある妊婦さんへの支援のために～」と題して、山口大学教育・学生支援機構 健康科学センター 助教 樋口尚子先生にご講演頂きました。

「周産期の女性とメンタルヘルス不調」「周産期によく見られる精神疾患」「周産期に関連した各疾患の特徴」「精神科医療に繋げる」について事例を交えながら詳しくお話を聞き知識を深めることができました。

医療機関で周産期をサポートする助産師と地域でサポートする保健師が、妊産婦の苦悩に共感し落ち着いて切れ目なく連携し相談支援をしていかなければいけないと改めて感じました。



〈講演を聞いてからの参加者の感想〉

- ・精神科医が行う治療を知ることができました。
- ・妊娠中のメンタルの不調が胎児の成長発達に影響するというのを初めて知りました。
- ・周産期のメンタルヘルス是对応が難しいと改めて感じました。
- ・事例を用いた説明があり、本人、家族支援について考えることができました。

講演後、圏域ごとに助産師と保健師合同で8Gに分かれ、「精神症状を呈する妊産婦さんへの支援について～連携促進」というテーマでグループワークを実施しました。

職種が違い初めて顔を合わせた方も多かったのですが、それぞれの立場で意見交換を行い連携することができました。今日のつながりを今後に活かしていっていただきたいと思います。



〈グループワーク実施後の感想〉

●助産師

- ・保健師さんと顔を合わせて関わる事がなかったので、保健師さんの立場からの意見を聞いて良かったです。
- ・保健師さんと妊婦さんの関わりが聞け、病院での役割が明確になりました。

●保健師

- ・助産師さんと話す機会がなく、現場のリアルな状況を聞くことができました。
- ・助産師さんの情報共有の仕方について話が聞いてよかった。

●共通

- ・市町村、病院の立場からの現状や課題について共有できました。
- ・医療機関、行政の連携、市の取り組みを知る貴重な機会となりました。

合同集会の前に、保健師職能集會が行われ、安池職能委員長より、令和5年度の事業報告、令和6年度の事業計画について、渡邊第二副会長より令和6年度の日本看護協会通常総会報告が行われました。

今後も研修を企画していきますので、皆様の参加をお待ちしています。

山口県看護協会保健師職能委員

